

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年11月24日(2011.11.24)

【公開番号】特開2011-173922(P2011-173922A)

【公開日】平成23年9月8日(2011.9.8)

【年通号数】公開・登録公報2011-036

【出願番号】特願2011-123082(P2011-123082)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/02 (2006.01)

A 6 1 K 8/22 (2006.01)

A 6 1 K 8/34 (2006.01)

A 6 1 K 8/33 (2006.01)

A 6 1 K 8/72 (2006.01)

A 6 1 Q 5/10 (2006.01)

A 6 1 Q 5/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/02

A 6 1 K 8/22

A 6 1 K 8/34

A 6 1 K 8/33

A 6 1 K 8/72

A 6 1 Q 5/10

A 6 1 Q 5/08

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月7日(2011.10.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アルカリ剤、及び酸化染料又は直接染料を含有する第 1 剤と過酸化水素を含有する第 2 剤からなり、第 1 剤と第 2 剤の少なくとも一方に界面活性剤が含有される 2 剤式染毛剤、及び第 1 剤と第 2 剤の混合液を泡状に吐出するノンエアゾールタイプのフォーマー容器からなる毛髪化粧品を用いた毛髪処理方法であって、該混合液の 25 における粘度が 1 ~ 300 mPa・s であり、第 1 剤と第 2 剤を混合した後、混合液をノンエアゾールタイプのフォーマー容器から泡状に吐出し、吐出された泡を手を使って毛髪に塗布した後、3 ~ 60 分間放置し、洗い流す毛髪処理方法。

【請求項 2】

混合液中に界面活性剤を 0.1 ~ 10 重量%含有し、混合液の 25 における粘度が 1 ~ 300 mPa・s である請求項 1 記載の毛髪処理方法。

【請求項 3】

第 1 剤、第 2 剤をそれぞれノンエアゾールタイプのフォーマー容器と別個の容器に充填したものを、使用時に双方の剤をノンエアゾールタイプのフォーマー容器に移し入れ、混合する請求項 1 記載の毛髪処理方法。

【請求項 4】

第 1 剤、第 2 剤の一方の剤をノンエアゾールタイプのフォーマー容器に充填し、他方の

剤を別個の容器に充填したものを、使用時に、他方の剤をノンエアゾールタイプのフォーマー容器に移し入れ、混合する請求項 1 記載の毛髪処理方法。

【請求項 5】

第 1 剤が酸素が透過し難い容器に充填され、第 2 剤がガス透過性のある容器に充填されている請求項 3 又は 4 に記載の毛髪処理方法。

【請求項 6】

ブロッキングしていない毛髪に吐出された泡を塗布する請求項 1 記載の毛髪処理方法。

【請求項 7】

混合液の pH が 8 ~ 11 である請求項 1 記載の毛髪処理方法。